

# 窓

Keiso  
Vol.33  
2025.10.1

東大阪大学・東大阪大学短期大学部附属図書館

一葉落ちて天下の秋を知る

『淮南子』「一葉の落つるを見て、歳<sup>いちよう</sup>の将に暮れ<sup>こ</sup>れんとするを  
知り、瓶<sup>へいちゅう</sup>中の氷<sup>こおり</sup>を睹<sup>み</sup>て、天下の寒きを知る。」

## 研究室訪問

実践保育学科 教授 松永須美子

### プロフィール

学術修士取得後、大学や短大で約30年教員として勤務しています。本学には2022年に着任いたしました。大学ではスポーツと健康や体育科教育法などを担当、短大では体育や健康活動などを担当しています。専門は運動生理学で「女性の健康」をテーマに研究を続けています。

Q：記憶の中、最初に自分で買った本は何でしょうか。

A：小学生の頃に読書感想文の宿題のために購入したと思いますが、何を読んだのか記憶が定かではありません。子どもころに読んだ本は図書館で借りたものが多いです。自分で買った憶えのある本は俵万智さんの「サラダ記念日」です。当時の流行りに便乗して買ったのですが、共感できる歌が多くあり、繰り返して読んでいました。

Q：好きなジャンルは？

A：トレーニングに関するハウツー本などの実用書です。雑誌「Tarzan」はトレーニング業界の最新のトレンドを知ることができるので、目を通す様にしています。



Q：最近買った本は？

A：吉田修一「国宝」です。映画「国宝」を観て、面白かったので原作を読みたくなり、購入しました。内容は歌舞伎の世界の話ですが、歌舞伎を知らなくても引き込まれるお話です。映画を観てから原作を読んでいるので、映画のシーンを回想しながら楽しんでいます。映画では恋愛が中心に描かれていますが、原作では義理や人情といった人間関係に焦点を置いている点に違いがあり、続きが楽しみです。

Q：本を買う時、ネット書店と本屋と、どちらをより多くご利用でしょうか。

A：半々です。最近は本屋が減ってしまい、立ち読みして衝動買いする機会も減りました。書店へ行く時間がない時はネットで購入します。

Q：時々読み直す本はあるでしょうか。

A：「知へのステップ」です。初年次教育の参考に使っています。大学生としてのスキルを身に付けるための実践例が書かれているので、毎年参考にしています。

Q：もし蔵書の中一冊だけ選ぶなら、どの本を選びますか。その理由は？

A：Dカーネギー「人を動かす」です。理由は相手を理解し、良好な関係を築くためのヒントが書かれており、大きな学びがある本です。人とのかわり方を見つめ直す良い機会になります。

Q：読書の醍醐味は？

A：好きな時間に好きな場所で楽しめる。異なる時代や場所など本の世界に没頭できる。想像力が豊かになる。

Q：座右の銘をお教えてください。

A：「気は長く 心は丸く 腹を立てず 人は大きく 己は小さく」という禅語です。小学校の卒業時に教頭先生から（右の様に）送る言葉として頂きました。



Q：読書について、学生へのアドバイスをお願いします。

A：学生時代は人生で最もいろんな経験ができる貴重な時間です。その時間を是非、読書に費やして欲しいと思います。本を読むことは知識を深めるだけでなく、自分の考え方を広げ、確実に将来の糧になるはず。これからの将来においてあなたを支えてくれる力となるでしょう。ジャンルを問わず、短時間でもいいので、本を読むことをお勧めします。きっと心を豊かにしてくれますよ。



## 私の心の本箱「笑ったり」「泣いたり」「怖がったり」

介護福祉学科教授 傘 郁子

「本、あれこれ」という言葉の響きで、遠い昔、幼い頃からの記憶が懐かしく鮮明に蘇ってきました。両親は生まれも育ちも大阪ですが、わたくしは父の仕事の関係で、新潟県のとある城下町で生まれました。気がつくと、傍らに絵本があり、「のりものえほん」の「ロマンスカー」と「トロリーバス」には、憧れを抱いていました。絵本の中の小田急電鉄 3000 形朱色がかかった赤色、そして大阪のトロリーバスです。「おそらのおほしさま」「からだのしくみ」の絵本にも興味を持ちましたが、星と星が無数の線で結ばれていること、血液の動脈と静脈が赤色と青色で色分けされていることに、違和感がありました。その頃、我が家には、全体が木製で、前面がレース付ガラス扉のお洒落な本棚に、「百科事典」が収められていましたが、何とも言えない近寄りがたい雰囲気漂っていました。その「百科事典」を手取るのは、8 年ほど先のことになります。

小学生の頃は、自分の本以外に家のあちらこちらに何気なく置いてある父母の「本」に興味を持ち、見たり読んだりしていました。「シャーロックホームズの冒険」「怪盗ルパン（アルセーヌルパン）」「淡交」「華道」「偉人伝」

「数々の文庫本」などです。低学年では、母と新潟市内の百貨店に行ったおり、その近くの書店に連れて行かれ、シャーロックホームズかアルセーヌルパンの本を買ってもらったのですが、何故その時、ホームズやルパンの本なのか、今となっては謎なのです。「シャーロックホームズの冒険」は、卓越した観察眼と推理力で難事件を解決し、相棒であるワトソンがそれを記録する形式で書かれていました。また、「怪盗ルパン」は、神出鬼没で盗みと同時に謎を解く、あるいは優雅に盗みを働く「怪盗紳士」として描かれていました。「数々の文庫本」は、おそらく父が購入して読んでいたものであり、その文庫本の中で、なんとなく松本清張・森村誠一・高木彬光を読みました。松本清張作品は、人間心理や社会の矛盾に焦点を当て、格差、差別、汚職、貧困、など普遍的なテーマがわかりやすい文章で描写されており、感銘を与えてくれました。数年後、家族中がファンになり、家族の中だけわかるように「せいちょう」ではなく「きよはる」と訓読みしていましたが、実はそちらが本名であるらしいとわかり、かなり慌てたことがありました。森村誠一作品の中で実際に読んだものは、登場人物が多く内容も複雑で、傍らに紙

と鉛筆を準備して人物相関図を描きながら読み進めました。高木彬光作品は、史上最強のお化け屋敷よりも怖かった記憶があります。後ろに恐ろしい誰かがいるようで・・・身の毛もよだつとはこのことかと実感しました。さて、「淡交」と「華道」は茶道（お茶）と華道（おはな）の月刊誌で、美味しそうな季節の主菓子、簡素で趣のある茶花、数々のお手前とともに風情のあるお道具の写真と文章が掲載されており、とても楽しい内容でした。

中学生になると、我が家のちょっとお洒落な本棚の「百科事典」を手にとり、ページをめくることが楽しみになりました。最も嬉しかったのは、「加治川の桜」を見つけた時です。加治川とは、自転車で 16 分ほどの距離にあった二級河川であり、この加治川沿いには、かつて長堤十里世界一と呼ばれた桜並木がありました。蛇行した川沿いに歴史ある古木の桜が川面まで枝を伸ばし、独特の風情が感じられました。ところが、昭和 41 年と 42 年の連続水害で桜はすべて伐採され、さらに河川改修によりその美しい姿は失われてしまいました。高校生の頃、愛犬を連れて加治川まで散歩に行き、その変わり果てた川の姿に茫然と立ち尽くしてしまいました。そのような時でも「百科事典」の加治川桜は、豪華絢爛で風情ある昔の姿を残しており、懐かしく嬉しく思いました。

最後は、お勧めの本（電子書籍）です。「実録！介護のオシゴト（1～5）國廣幸亜 著 秋田書店」は、人生の大先輩の生きる力、人間力に触れることができ、家族介護も含めて、介護は奥が深い仕事であることを感じてもらえるかな・・・のシリーズです。かわいい絵とともに、わかりやすく描写されており、改めて高齢者の素晴らしさに感動します。家族介護で疲れ果てていませんか、辛く悲しい思いをしていませんか。一度ご覧になってみてください。お腹の底から笑いがこみ上げてきて、少しだけ肩の荷が下りるかもしれません。



# 2025 年度 前期 図書館開催イベント

## 【学生選書】

2025 年度前期学生選書を下記の日程で実施しました。

書店ツアー：6 月 25 日（水）

Web 選書：6 月 23 日（月）～7 月 10 日（木）

参加学生は合計 11 名。それぞれ読みたい本、図書館に置いてほしい本などを選びました。選ばれた図書（72 冊）は図書館 2 階閲覧室の「学生選書コーナー」に並びます。貸し出しもできますので、ぜひご利用ください。



## 【参加者のコメント】

- ・子どものころから、English Book が好きです。
- ・運動する学生も多く、全国的に熱中症になる人が多いため、『熱中症を科学する』を選びました。

- ・好きな映画の原作をおすすめしたいです。
- ・実写映画化されていたので興味があって選びました。
- ・『成瀬は天下を取りにいく』は、学生時代に色々挑戦する勇気、またその経験の大切さが書かれた一冊。いつでも挑戦というのは素晴らしいです。是非手に取って読んで欲しいです。
- ・米澤穂信さんの作品は、ライトな推理小説で、何作かアニメ化もされているので、学生の皆さんが読みやすいと思い選びました。
- ・たくさんの本のなかから選べて楽しかった。



- ・たくさんの本と出会い、読みつづけたいです。
- ・日本語の勉強の手助けになります。
- ・今まで見たことのない本が色々あって、とても面白かったです。



## 【アンデルセン絵本コレクション】

2 階にコレクションコーナーを移動しました。  
36 ヲ国（出版国）・26 言語数 424 冊  
（館内利用のみ）

## 【図書館イベント予定】

- ・学生選書（書店ツアー/web 選書）  
2025 年 10 月に開催を予定しています。
- ・読書作文コンクール
- ・企画展示  
随時、実施しています。

# 教員推薦図書

国際教養こども学科准教授 山本 緑

『火の鳥 No.2 [未来編] 未来編』手塚治虫  
KADOKAWA 1986, 7, 31

手塚治虫『火の鳥 未来編』は、西暦3404年、AIにすべてを委ねた人類が核戦争によって滅亡した地球を舞台に描かれます。最後に生き残った少年マサトは、新たな生命を生み出そうと実験を繰り返し、やがて何億年もの歳月を経て、地球の再生を見届ける存在となります。彼を見守る火の鳥は、不死の象徴として「コスモゾーン」を語り、人間の魂や記憶は、宇宙＝自然界のエネルギー体へと還元され、再構成されると告げます。これは、宇宙の根源ブラフマンと個の魂アートマンが本質的に一体であるという、古代



インドに起源をもつヴェーダ哲学に基づく思想であり、ヒンドゥー教や仏教の輪廻観、日本文化の死生観とも深くつながっています。この物語は、困難な時代に生きる私たちに、立ち返ることのできる心の拠りどころを思い出させてくれます。

実践食物学科講師 紀平 佐保子

『9000人を調べて分かった 腸のすごい世界 強い体と菌をめぐる知的冒険』國澤純 日経BP 2023, 4, 24

本書の著者である國澤純氏は、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所ヘルス・メディカル微生物研究センター長を務める、腸と免疫研究の第一人者です。約9,000人の腸内データを解析して見えてきたのは、腸内細菌が私たちの健康や体質に想像以上の影響を与えているという事実でした。腸内細菌の種類や数は人によって様々で、また日々の食事に大きく左右されます。この細菌群の変容が人体にもたらす影響は、下痢便秘に代表される消化管トラブルだけでなく、病気のかかりやすさやアレルギー、老化現象、体型変化さらには脳機能にまで多岐にわたるといいます。本書では、近年急速に進展した研究成果をもとに、腸と全身機能との関連をわかりやすく示し、多様な菌がバランスよく共存する腸内環境のつくり方も提示します。学術的知見を得られるとともに、健康増進や体質改善といった実生活に役立つ一冊です。お腹の中に住む菌たちに、ぜひ目を向けてみてください。

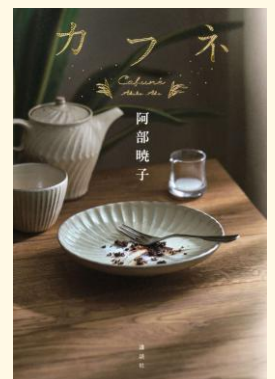
こども学科准教授 布本 肇

『カフネ』阿部 暁子 講談社 2024, 5, 20

みなさんは、第一印象が大きく変わってしまった経験はありませんか？「何この人？」と思っていたのが、日を重ねるごとに印象が変わっていく。何がそうさせるのでしょうか？

薫子は、法務局に勤める41歳のキャリアウーマン。突然夫に離婚を突き付けられ、生活は荒んでいく。そんなある日、12歳年下の弟春彦が突然逝ってしまう。不思議なことに春彦は遺言書（遺書ではなく、いつか死んだときに遺産相続をどうするのかを書き記したもの）を残していた。その中には、元恋人のせつなに、遺産の一部を相続する旨が書かれていた。

せつなは、家事代行を生業としている。土日には、ボランティアでやむにやまれず家事が滞ってしまう家庭、例えば、認知症の夫を世話する夫人の家や忙しい仕事をもった父子家庭の家、ネグレクト傾向のある家などで、調理をしている。掃除係の人とペアで。



最初、相容れなかった2人が、ペアでボランティアをすることになり、様々な人と出会いながら、お互いを理解し始める。2人の間には、いつも亡き春彦がいる。

現代社会の問題を背景に、人の優しさとは何か、生きるとは何かを考えさせてくれる1冊。

